令和5年度小矢部市下水道事業報告書

1 概況

(1) 総括事項

本市の下水道事業は、市民の快適な生活環境の確保を図るとともに、公共水域の環境保全に寄与するものとして、より一層の市民サービスの向上に努めています。また、「汚水処理10年概成」に向けてより効率的に未普及解消に取り組むため、基本計画を見直し下水道整備の推進を図っています。

近年、人口減少や施設の老朽化など、下水道事業を取り巻く経営環境が厳しさを増す中、独立採算の原則に基づく経営が求められており、将来にわたって持続的な経営が厳しい局面にあります。

このような状況の中で限られた財源を有効に活用するため、経費の節減や事業の効率化を徹底し、経営の安定化及び健全化を図ってまいりました。

① 汚水処理及び整備状況

令和5年度末における処理区域内下水道人口は22,200人(前年度比0.6%増)、下水道普及率は78.7%となり、前年度より1.2%の増加となりました。また、年間総処理水量は2,447千 m^3 (前年度比2.9%増)、年間有収水量1,898千 m^3 (前年度比2.1%増)、不明水率は22.4%となり、前年度より0.6%の増加となりました。

1月1日の能登地震及び関連した減免の影響により、年間総処理水量及び不明水率が増加しました。

現在の認可面積は986.4haで、そのうち整備済の供用開始面積は884.1haであり、整備率は特定環境保全公共下水道事業の進捗により90.1%で前年度より0.8%の増加となりました。

② 建設改良事業

令和12年度までの「汚水処理10年概成」を目指し、未普及地域での特定環境保全公共下水道事業として汚水管の布設を行うとともに、宅地造成等に伴い、公共下水道事業、特定環境保全公共下水道事業及び農業集落排水事業として汚水管の布設並びに公共ますの設置を行いました。

未普及地域での整備としては、埴生(綾子・蓮沼)、荒川(芹川)、若林(金屋本江)、水島(胡麻島・下後函・経田)、津沢(新西・西島)、藪波(浅地)地区で汚水管布設工事を行い、そのほか、マンホールポンプ設備工事及び舗装本復旧工事を行いました。また、西中野汚水中継ポンプ場及び今石動町雨水ポンプ場の耐水化工事を行いました。

③ 財政状況

(収益的収支)

収入については、営業収益396,966,760円、営業外収益861,339,125円、特別利益25,328円で総額1,258,331,213円、支出は、営業費用1,132,027,824円、営業外費用140,944,840円、特別損失1,212,230円で総額1,274,184,894円、収支差引額は△15,853,681円となりました。

(資本的収支)

収入は、企業債790,600,000円、他会計出資金267,000,000円、国庫補助金281,572,900円、負担金等46,179,466円で総額1,385,352,366円であり、支出は、建設改良費694,648,186円、企業債償還金1,173,066,157円で総額1,867,714,343円となり、資本的収入額(翌年度へ繰り越される支出の財源に充当する額50,406,180円を除く。)が資本的支出額に不足する額は532,768,157円となりました。

この不足額については、消費税等資本的収支調整額、繰越工事資金及び損益勘定留保資金をもって補填しました。